

Cisco SPA303 3-Line IPPhone 取り扱い説明書

Ver2.0.3 2017/07/12 更新
Ver2.0.2 2017/05/10 更新
Ver2.0.1 2016/03/01 更新
Ver2.0.0 2015/07/03 作成



このたびは、CISCO SPA 303 3-LINE IP PHONEをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用の前には、本書を必ずお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

下記の製品が全て入っていることをご確認ください。

CISCO SPA 303 3-LINE IP PHONE本体

- ・ ACアダプタ
- ・ 受話器
- ・ カールコード
- ・ イーサネットケーブル
- ・ 台座

■ 免責事項

- ・ 機能・仕様については予告なく変更する事があります。
- ・ お客様及び当社のネットワーク環境により、ノイズ・音の途切れ・不通などの現象が起こる事があります。また、通話品質の保証はいたしません。
- ・ 個人の聴力により通話品質に差が生じた場合について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 日本国外でのご使用に際する障害について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ CISCOSPA3033-LINEIPPHONEは定期的なサーバメンテナンスを行うため、事前の告知なく一時的にサービスが停止する場合があります。
- ・ 商品の故障、誤動作などの要因で電話が使えなかった事による付随的障害については、当社は一切その責任を負いません。

■ お手入れ

柔らかい乾いた布で拭いてください。ぬれた雑巾は使用しないでください。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。科学雑巾をご使用になる時は、科学雑巾に添付の注意書をよくお読みください

●接続方法

- ① 本体と受話器をカールコードでつなげる
- ② イーサネットケーブルを本体とブロードバンドルーターに差し込む
- ③ ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む
- ④ ACアダプタを本体に差し込む

※ 接続の順番は必ず守ってください。ケーブル、アダプタは確実に差し込んでください。接続してから通話ができるまでには数分かかりますので、しばらくお待ちください。

●CISCO SPA 303 3-LINE IP PHONEとは

CISCO SPA 303 3-LINE IP PHONEとは、当サービスにてお使いいただける電話機です。一般加入電話としてはご利用できません。本製品をご利用いただくためには、インターネットサービスプロバイダーに加入しておく必要があります。ご利用のモデムにブロードバンドルーター機能がない方は、別途ブロードバンドルーターが必要となります



- ① Handset: 受話器
- ② LCDscreen: ディスプレイ
様々な設定や、相手の電話番号が確認できます。
- ③ Voice mail indicator light
留守番電話メッセージがある時に、点灯します。
- ④ Lines
設定されておりますアカウント情報が表示されます。
- ⑤ Soft buttons
画面上の項目を選択して頂けます。
- ⑥ Navigation button
ディスプレイメニュー内のカーソルを移動させることができます。
- ⑦ Mailbox button
留守番電話の確認に使用します。
- ⑧ Hold button
保留ボタン
- ⑨ Setup button
電話機に設定されている情報を確認出来ます。
- ⑩ Volume adjustment bar
各種ボリュームの調節をします。
- ⑪ Headset button
ヘッドセット利用時に使用します。
- ⑫ Speaker button
ハンズフリー機能です。受話器を置いたままでも通話出来ます。
- ⑬ Mute button
通話中に自分の音声相手に届かなくなります。
- ⑭ Dial pad
電話番号をダイヤルする際に使用します

● 設定方法

① CISCO SPA 303 3-LINE IP PHONE本体のIPアドレスを確認する。
本体の「Setup」ボタンを押すと、LCD screenにSetupメニューが表示されます。
Navigationボタンにて、「Network」を選択し、Softボタンの一番左、Selectを押します。

② webブラウザから、設定ページを開く。
CISCOSPA3033-LINEIPPHONEと同じネットワークに接続されたPCから、インターネットエクスプローラー等webブラウザを起動し、先ほど確認したIPアドレスを、以下のように打ち込みます。

[http://\(IPアドレス\)/](http://(IPアドレス)/) 例:192.168.1.2だったら、<http://192.168.1.2/>

※不正ログインを防止するため、必ず任意のパスワードに変更して下さい。
変更方法が不明な場合、弊社にてお問い合わせください。

③ 設定画面がwebブラウザに表示されますので、画面右上の「Adminlogin」をクリックし、「advanced」をクリックします。
(選ばれていない方が太字になっておりますので、注意してください。)

④ 画面上部「System」タブをクリックし以下のように設定します。

Primary NTP Server: & Secondary NTP Server:
「ntp.jst.mfeed.ad.jp」を入力します。

Small Business
cisco SPA303 Configuration Utility

User Login basic **advanced**

Voice Call History Personal Directory

Info System SIP Provisioning Regional Phone User Attendant Keys

Ext 1 Ext 2 Ext 3

System Configuration

Restricted Access Domains:

Enable Web Server: yes Web Server Port: 80

Enable Web Admin Access: yes Admin Passwd:

User Password:

Signaling Protocol: SIP

SPCP Auto-detect: yes Phone-UI-readonly: no

Phone-UI-user-mode: no

Internet Connection Type

Connection Type: DHCP

Static IP Settings

Static IP: NetMask:

Gateway:

Optional Network Configuration

HostName: Domain:

Primary DNS: Secondary DNS:

DNS Server Order: Manual DNS Query Mode: Parallel

DNS Query TTL Ignore: no Syslog Server:

Debug Server: Debug Level: 3

Layer 2 Looping: no Primary NTP Server: ntp.jst.mfeed.ad.jp

Secondary NTP Server: ntp.jst.mfeed.ad.jp

Undo All Changes Submit All Changes

© 2009 Cisco Systems, Inc. All Rights Reserved. SPA303 IP Phone

- ⑤ 画面上部「Regional」タブをクリックし、ツールバーで一番下まで行き、以下のように設定します。

The screenshot shows the 'Regional' configuration page. The 'Time Zone' dropdown menu is highlighted with a red circle and set to 'GMT+09:00'. Other fields include 'Service Annnc Base Number', 'Service Annnc Extension Codes', and various 'Prefer' and 'Force' codes for different G711u, G711a, G722, G726r16, G726r24, G726r32, G726r40, and G729a codecs. The 'Miscellaneous' section includes 'Set Local Date (mm/dd)', 'Time Zone', 'Ignore DHCP Time Offset', 'Daylight Saving Time Rule', 'Daylight Saving Time Enable', 'DTMF Playback Length', 'Dictionary Server Script', 'Language Selection', 'Set Local Time (HH:mm)', 'Time Offset (HH:mm)', 'DTMF Playback Level', 'Inband DTMF Boost', and 'Default Character Encoding'.

TimeZone:「GMT + 09:00」を選択します。

- ⑥ 画面上部「Phone」タブをクリックし以下のように設定します

The screenshot shows the 'Phone' configuration page. The 'Voice Mail Number' field is highlighted with a red circle and set to '999'. The 'Short Name' field for Line Key 1 is highlighted with a red circle and set to '内線番号'. The 'Extension' dropdown for Line Key 1 is highlighted with a red circle and set to '1'. The 'Extension' dropdowns for Line Key 2 and Line Key 3 are highlighted with red circles and set to 'Disabled'.

Voice Mail Number : 「999」を入力します。

Short Name : 内線番号を入力します。

Extension : 使用しないLine Keyは「Disabled」に設定します。

※ CISCO SPA 303 3-LINE IP PHONEにおいて、LineKey1からLineKey4を別々の内線番号でお使い頂くことが出来ます。別々にお使い頂く場合、Extensionに使用する内線を設定したExtensionの番号を設定します。

Short Nameは、ディスプレイに表示される内容になります。

●設定方法

上記の例ではLineKey1とLineKey2への別々の内線を設定しています。
一つの内線番号でご利用の場合は、LineKey2をDisabledに設定します。
画面上部「Ext1」タブをクリックし以下のように設定します。

The screenshot shows the 'NAT Settings' and 'SIP Settings' sections of the configuration utility. In the 'NAT Settings' section, 'NAT Mapping Enable' is set to 'no', 'NAT Keep Alive Msg' is an empty text box, and 'NAT Keep Alive Enable' is set to 'yes'. In the 'SIP Settings' section, 'SIP Port' is set to '50000~60000'. Other settings like 'SIP Transport' (UDP), 'SIP 100REL Enable' (no), and 'Auth Resync-Reboot' (yes) are also visible.

NAT Keep Alive Msg: 空欄にします。

NAT Keep Alive Enable: 「yes」を選択します

SIP Port: 50000~60000のいずれかの数字を入力します。

※重複の無いように、各端末毎に異なるポート番号を割り当てて下さい。

例: 端末Aには50000、端末Bには50001

The screenshot shows the 'Call Feature Settings' and 'Proxy and Registration' sections. In 'Call Feature Settings', 'Mailbox ID' is set to '999'. In 'Proxy and Registration', the 'Proxy' field is filled with 'ログインサーバ:25060'. Other settings like 'Blind Altn-Xfer Enable' (no), 'Message Waiting' (yes), and 'Use Outbound Proxy' (no) are also visible.

Mailbox ID: 「999」を入力します。

Proxy: お客様管理ページに記載されているログインサーバを入力し、その後ろに":25060"と入力します。

※管理ページに記載されているログインサーバがVoip3XXXの場合は、ログインサーバの後ろの":25060"は入力しないで下さい。

※留守番電話録音時に、LEDを点滅させる機能(MWI機能)は、MessageWaitingをONに設定します。

The screenshot shows the Cisco SPA303 Configuration Utility interface. The 'Subscriber Information' section is highlighted with a red box. The fields within this section are: Display Name: ユニーク, Password: パスワード, Auth ID: ユニーク, User ID: ユニーク, Use Auth ID: yes, Reversed Auth Realm: (empty). Below this, the 'Audio Configuration' section includes various codec and feature settings. At the bottom, the 'Dial Plan' section shows a field for the Dial Plan with the value: (xx.|*x.|**x.|***x.|*x.*x.|*x.*x.*x.|#x.|#x.*x.|#x.*x.*x.) and buttons for 'Undo All Changes' and 'Submit All Changes'.

Display Name: & AuthID: & UserID:ユニークを入力します。

Password: 登録時にメールでお伝えしたパスワードを入力します。
もし、マイページにてパスワードの変更を行った場合は、その変更したパスワードを入力します。

Use Auth ID:「yes」を選択します。

DialPlan:

「(xx.|*x.|**x.|***x.|*x.*x.|*x.*x.*x.|#x.|#x.*x.|#x.*x.*x.)」を入力(全て半角)します。

※ 正しく入力されないと、発信が出来ません。

LineKey2以降を有効にした場合は、同じ要領でExt2,3,4タブの設定をします。

設定が終わりましたら、「SubmitAllChanges」をクリックします。
本体が再起動され、設定が有効になります。

安全にお使い頂くために

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。
注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。












警告 この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。









注意 この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容を示しています。



-  煙が出たり、変なにおいがするときは電話機コードを抜く
そのまま使用すると、火災や事故の原因となります。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
-  分解・改造しない
火災・感電・故障の原因となります。
-  開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない
万一、入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
-  内部に水や異物を入れない
水や異物を入れると、火災・感電の原因となります。万一、水や異物が入った時は、電話機のコードを抜き、販売店に連絡してください。
-  故障や異常状態のまま使用しない
火災・感電の原因となります。
-  雷が発生したときは、本機に触れない
感電の原因となります。
-  風呂やシャワー室では使用しない
火災・感電・故障の原因となります。
-  本機の上や近くには水などの入った容器や小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入ったりすると火災・感電・故障の原因となります。
-  水などで濡らさない
本機は生活防水タイプではありません。万一、内部に水などが入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



-  調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるところに置かない
火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  直射日光の当たるところに置かない
内部の温度が上がります、火災の原因となることがあります。
-  湿気やほこりの多いところに置かない
火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  極端に寒いところや急激な温度変化のあるところに置かない
故障の原因となることがあります。
-  不安定な場所や振動の多いところに置かない
落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。
-  受話器の受話部に吸着物がないか確認してから使う
受話器の受話部の磁石に、画鋲やピン、ホチキスなどの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。

故障かな？と思ったら

修理・交換を依頼する前にもう一度下記の表をご確認ください。

それでも具合の悪いときは、弊社まで、お問い合わせください。

症状	原因	処置
障害全般	電源ケーブルの抜き差しをお願いします。(数回行ってください) 電源ケーブルを抜いてから再度接続するまでは、1分以上お待ちください。 上記を行っていただいても改善されない場合は、弊社サポートまで、ご利用のルーターのメーカー・名称・商品番号及びブロードバンド環境をご連絡ください。	
呼び出し音が鳴らない	イーサネットケーブルがはずれていませんか。	イーサネットケーブルの接続を確認してください。
	ACアダプタがはずれていませんか。	ACアダプタの接続を確認してください。
	呼び出し音量の設定を変更しましたか。	Volumeボタンで音量を調節してください。
	ディスプレイに表示される設定を変更しましたか。	変更した設定を元に戻すか、イーサネットケーブルを抜き差し(再起動)してください。
通話が途切れる ノイズが入る	ネットワーク環境に異常はありませんか。	ネットワーク環境を確認し、問題箇所を修復してください。
発信は出来るが、着信が出来ない	ディスプレイ上に「DoNotDisturb」が表示されていたら、ディスプレイ表示「-dnd」をソフトボタンを押して非表示にして下さい。	

●初期化方法

初期化作業を行うと設定されたデータが全て消去されます。
初期化作業後はご利用のサービスに必要な情報を再度設定する必要があります。

1. 本体Setupボタンを押し、LCDscreenにSetupメニューを表示させます。
2. Navigationボタンにて、「FactoryReset」を選択し、Softボタンの一番左、Selectを押します。
3. 確認が表示されるので、「OK」を選択し、Selectを押します。